

アワビを陸上養殖

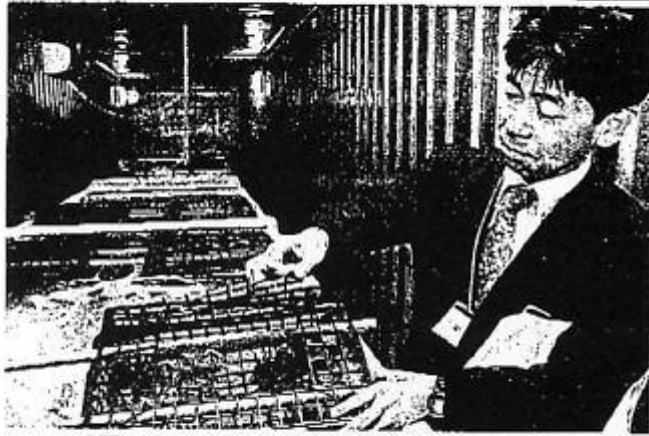
焼津 駿河湾深層水を利用 シナネン

エネルギー卸売のシナネン（東京都港区、鈴木弘行社長）は、焼津市の小川漁協で駿河湾深層水を利用したアワビの養殖事業を始めた。地元の駿河湾深層水を利用し、船用コンテナ内で養殖する。一定の温度を保つことで成長を促し、年末の出荷を目指している。

飼がほとんど存在しない。00個を飼育している。銅青水を18度前後に保つこと、海面銅青に比べ成長を早め、約1年で8〜9センチになる見込みだ。また、断熱性に優れた

コンテナ内にエアコンを設置し、温度管理で適した成育環境を整えたほか、残さや排せつ物は微生物硝化槽で衛生管理するという循環生産システムも採用。銅青水を再利用した吸塩野菜の栽培も視野に入れる。

同社は2年後には年間30万個の生産体制確立を見込む。「深層水ブランドを強調し、県内の旅館などに販路を開拓したい」（経営企画部）としている。



船用コンテナと駿河湾深層水を利用してスタートしたアワビの陸上養殖事業＝焼津市の小川漁協

同社はリンやケイ酸など無機栄養塩に富み、細